

第6章 基礎情報のデータ化

1. 県民意識調査の GIS データ化

(1) 町丁目別の緑に対する満足度の Shape ファイル化

県民意識調査で把握した家の周りの緑に対する満足度（図 2-8）について、個々の回答（恵まれている～恵まれていない）を 5～1 の値に数値化し、回答者が居住する町丁目別に平均値を求め、GIS で表示できる shape ファイル化した。図 6-1 に示す GIS 上の表示例では、市町村等が緑の取組を検討する際、県民意識を参考とできるよう、満足度の平均値を「3より大きい」、「3」、「3より小さい」と区分し、町丁目を色分けして表示している。

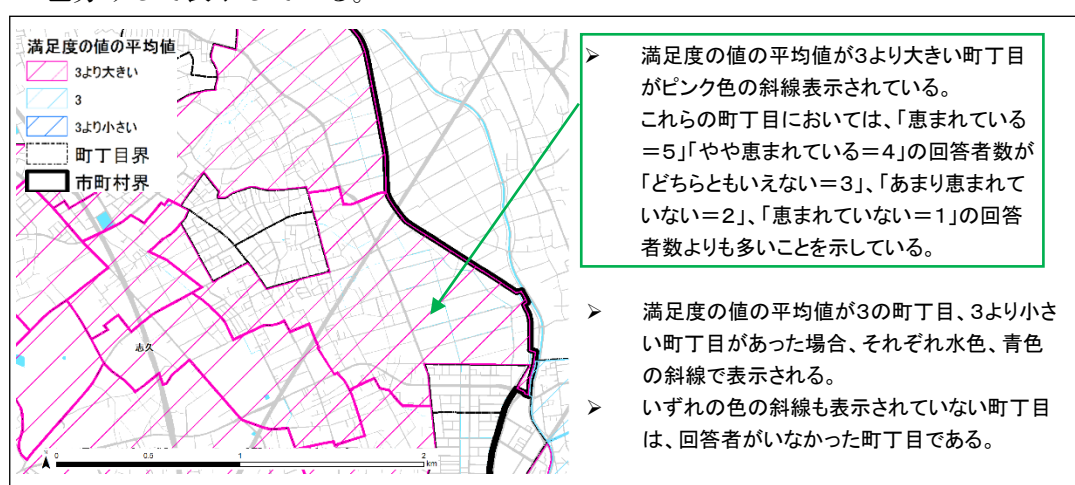


図 6-1 Shape ファイルの表示例

(2) 「心地よいと感じる緑の具体的な場所」の地点情報の KML 化

県民意識調査で把握した心地よいと感じる緑の具体的な場所（図 2-47）を、地図上に表示し、市町村等が取組検討の参考とできるよう、GIS で表示できる shape ファイル化及び KML ファイル化した。KML ファイルは、Google が Web 上で無料配布する「Google Earth」から読み込むことで、Google マップのストリートビュー機能によって現地の写真を見ることができるようになる。

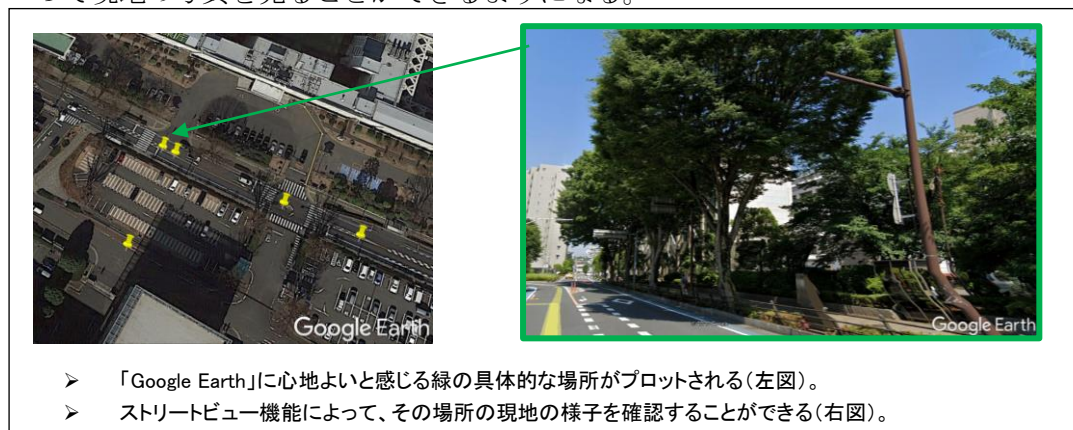


図 6-2 KML ファイルの表示例

2. 地域別・市町村別データシートの作成

本業務を通じて得た県内の緑に関する基礎情報を、埼玉県内の市町村が緑の基本計画策定等にあたり活用できるように、緑被情報や県民意識調査結果を「地域別・市町村別データシート」として取りまとめた。

次頁より収録する。